

呉市企業の今期の景況は、非製造業の回復が要因し、2期連続で上昇  
 - 円高傾向や慢性的な人材不足、消費の鈍化など今後も注視する必要あり -

- ・ 調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・ 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・ 平成28年9月を前年同月と比較
- ・ 平成28年10月～12月の先行き見通しを平成28年9月と比較
- ・ 調査時期 9月中・下旬
- ・ 調査対象 呉市内の業種別主力企業100社 (回答81社、回収率81%)

**【D I 方式について】**  
 D I (ディフュージョン・インデックス) は、各調査項目について判断の状況を示す。  
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす。  
**D I = (増加・好転等「良い」の回答割合) - (減少・悪化等「悪い」の回答割合)**

・ **9月の景況**を見ると、下の表の通り、  
**総合(全業種) D I** (良い-悪い) は△5.1 → △3.7 と、全体では前期に比べ、+1.4 と少し上昇の推移。  
**業種別**では、**製造業**は、約7.0割の企業が横ばいの回答で、D I は△2.3 → △2.3 と変わらず。  
**非製造業**は、約7.3割の企業が横ばいの回答で、D I は△8.6 → △5.4 と少し上昇した。

・ **10～12月の先行き見通し**では、  
**総合(全業種) D I** は△7.6 → △4.9 と、前回予測から+2.7 と少し上昇する見通し。  
**業種別**では、**製造業**は、D I は△6.9 → 0.0 と上昇する見通し。  
**非製造業**は、D I は△8.6 → △10.8 と少し悪化する見通し。

**総合(全業種)**では、△5.1 → △3.7 と、呉市の景況は前期に比べ、+1.4 と少し上昇の推移。来期は△7.6 → △4.9 と、前回予測から回復する見通し。

**業種別概況**は、製造業は横ばいの動きで、非製造業は少し回復の推移となった。9月調査による10～12月先行き D I 数値は、6月調査による7～9月先行き見通しに比べて製造業は回復の見通しであるが、非製造業は少し悪化の見通しで推移する予測。

**呉市の景況**は、非製造業の回復が要因し、上昇の推移となっている。製造業は「仕事量の増加」「設備投資の増加により好調」など、一部明るさも見受けられるが、「円高が進み状況は良くない」「円高による影響と国内需要の低迷」等、円高の影響も見受けられた。建設業は、「人手不足」の問題があり、受注機会の損失もある様子。非製造業は、「出荷量の増加」「新規取引を獲得」等、卸売業を中心に回復の動きが見られるも、個人消費については「消費者の動向が鈍化」「生活防衛意識が顕著」等、消費の弱さが見受けられた。

**来期の景況**については、慢性的な人材不足、消費の鈍さや円高傾向の状況により、先行きは慎重な見方が伺える。

業種別景況D I

	28年 6月実績	28年 9月実績	今 期			6月調 7～9月 見通し	9月調 10～12月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合(全業種)	△5.1	△3.7	12.3	71.6	16.0	△7.6	△4.9	9.9	75.3	14.8
製造業	△2.3	△2.3	13.6	70.5	15.9	△6.9	0.0	11.3	77.3	11.3
非製造業	△8.6	△5.4	10.8	73.0	16.2	△8.6	△10.8	8.1	72.9	18.9
建設業	11.1	△11.1	11.1	66.7	22.2	△11.1	△33.3	11.1	44.4	44.4
卸売業	△8.3	13.3	20.0	73.3	6.6	△8.4	6.7	13.3	80.0	6.7
小売業	△28.6	△28.6	0.0	71.4	28.6	△14.3	△14.3	0.0	85.7	14.3
サービス業	△14.3	△16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	△16.7	0.0	83.3	16.7

呉市の業界DI(H26.9～H28.9)

